

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	島根県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	広瀬町立西比田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1		1		0	4	9
児童数	11	9	8	7	4	12	0	51	

研究の概要

1. 研究主題

生き生き学び、一人一人が伸びる
-----------------

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全校児童対象 算数科を窓口とし、全教科、全領域で取り組む (算数科は、系統性が強く、研修の成果を生かしやすいため)
--

(2) 年次ごとの計画

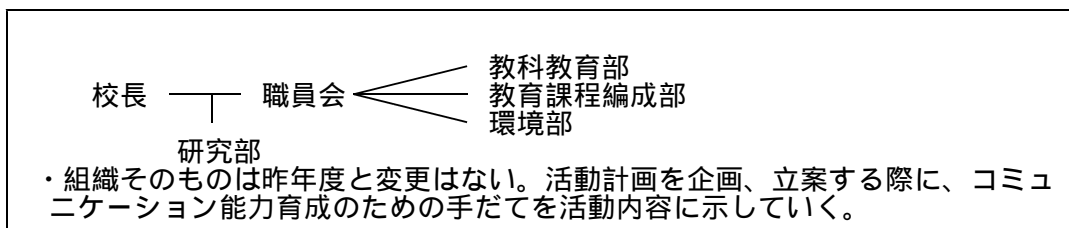
平成14年度	<p>テーマ 生き生き学び、一人一人が伸びる</p> <p>研究内容・方法 校内体制の整備と充実した教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力観について、KJ法等を活用し、共通理解を図った。</li> <li>・授業研究会を実施し、教科研究を深めた。</li> <li>・個に応じた対応のためのT・Tによる指導を取り入れた。</li> <li>・地域巡検や渋染め一揆フィールドワークなど職員研修の充実を図った。</li> </ul> <p>地域との連携の推進、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りを校区内全戸に配布し、情報発信の窓口とした。</li> <li>・PTA総会で、学力向上フロンティア事業や新教育課程の説明を実施した。また、参観日で、同和教育・性教育等の授業公開や環境保護についての講演会を実施した。</li> <li>・ふるさと学習および、福祉教育の推進をし、地区探検やたたら学習、クラブ活動、飼育栽培活動、しめ縄やささまき作り、比田踊り講習会などで、地域の方々にご協力頂いた。</li> </ul> <p>他の学校との連携の推進、情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三校会(比田中学校区の三校・・・比田中、東比田小、西比田小)でも授業研究会を実施し、中学校の立場から、また、複式校の立場から助言をいただきながら教科研究を深めた。</li> <li>・他校との交流学习(社会科・生活科)を進めた。</li> <li>・県外の指定校で、本校と同規模校との情報交換をした。</li> </ul>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 生き生き学び、一人一人が伸びる</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の全体計画を作成し、全ての教育活動を「仲間 徳」「学び 知」「くらし 体」に分類し、バランスのとれた発達を促していくことにした</li> </ul> <p>算数科の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科の研究のテーマを設定した。</li> <li>・数学的コミュニケーション能力の育成</li> <li>・算数科の主題に迫るために3つの取り組みを行うことにした</li> <li>*学習過程を設定する。</li> </ul>
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習過程で育成したい数学的コミュニケーション能力の目標を設定する。</li> <li>* 算数科の「研究の視点」を設定し、授業により検証する。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材との出会わせ方、問題設定の工夫</li> <li>・自分の考えを持つための算数的活動の工夫</li> <li>・一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うための評価と支援</li> <li>・お互いの考えを交流し、数学的に高め合い、解決するための話し合いの工夫</li> </ul>
--	--

平成 16 年度	<p>テーマ</p> <p>生き生き学び、一人一人が伸びる</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教育活動においてコミュニケーション能力の育成をどのように図るかを意識して計画を立案し、実施する。</li> </ul> <p>算数科の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科の研究のテーマ「数学的コミュニケーション能力の育成」は継続する</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科の研究の視点については、今年度の研究の成果と反省をふまえて検討し、さらに焦点化できるようにしたい。</li> </ul>
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

<p>算数科の学力テスト（CRT）の結果〔平成14年7月 平成15年2月実施〕を分析して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期実施の学力テストでは、低学年から中学年にかけての通過率が良好で、4つの観点のほとんどにおいて、「十分満足」の判定が出ている。しかし、高学年になると通過率の低下がみられ、二極化する傾向も認められる。</li> <li>・観点別にみたとき、特に「数学的思考」の観点で、高学年の通過率低下の傾向が見られる。4年生以降の数学的思考の指導を丁寧に行っていく必要がある。</li> </ul> <p>研究の視点に沿って</p> <p>問題場面の提示や設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居やクイズ、ゲーム、日常生活に根ざした場면을提示することで、解決への意欲が高まる。</li> </ul> <p>算数的活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学習状況に応じた具体物を用意し、いつでも操作できるような学習環境を整えることで、対象に対するイメージを自分のものにしていった。</li> </ul> <p>きめ細かな指導を行うための評価と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート指導を継続する。自分のわかったこと、参考になった友達の考え、感想をメモさせることで学習の足跡が残り子ども自身の学習の整理と次時への見通しがもてた。教師の評価にも役立ち、赤ペンを入れたり、話し合いへの生かし方を配慮したり、きめ細かな支援を行えた。よい取り組みに対しては、全体の場で評価する。</li> </ul> <p>話し合いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材のねらいや児童の実態に応じて教師が話し合いの中で関わり方（共通点や相違点を問う発問やゆさぶり発問）（言葉のたりないところは補う）を意識したことで、数学的に高まりのある話し合いがみられた。</li> </ul>
---

## 2. 今後の課題

- ・学習に用いられる用具、具体物について、単元や学年ごとの系統性を把握して指導に当たる。
- ・子どもによる学習の振り返りのさせかたをどのようにするか。
- ・話し合いの場でのコミュニケーション能力を高めるために、算数科で明らかになってきたことを他教科や領域でも生かしていく。
- ・子どもが意欲的に学習する教材の工夫

### 学力等把握のための学校としての取組

- \* 学力検査（CRT）の実施。
- \* 目標とする子どもの姿を明確にし、授業の中での評価を的確にする努力をする。
- \* 授業研究会の実施によって、参観者と自分の評価の観点や規準を比較し、確かなものにする。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- \* 平成15年度は、授業研究会（中間発表会もかねる）を2回実施し（6月、9月）、広くフロンティアスクール指定校や同規模複式校への参加を呼びかけ、本校の実践についての意見を求めた。
- \* 平成16年度の研究会、説明会等の開催予定（日時、場所、対象、会の目的等）は未定。
- \* 研究成果普及のためのHP作成（平成16年度前半）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下               7～12学級  
                                  13～18学級               19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導               T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制               その他
- 【研究教科】               国語               社会               算数               理科  
                                  生活               音楽               図画工作       家庭  
                                  体育               その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有               無